

第10回千葉県障害者グループホーム大会 参加申し込み書

◆お申し込み方法

下記の申込欄に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込みください。

6人以上でご参加の場合は、代表者のお名前と人数をご記入いただくか、お手数ですがこの用紙をコピーしてお使いください。

締め切りは、平成30年11月26日(月)です。

※お申し込みの受理についてこちらからお知らせすることはありませんが、

定員(450名)を超えた場合は、お申込み近日中に、

天候等の関係で急遽中止になる場合は、前日中にお電話で連絡させていただきます。

FAX : 043-222-4133 (送信票不要)

お電話によるお問い合わせは 043-223-2308

千葉県健康福祉部 障害福祉事業課 事業支援班 担当：青柳まで

ご面倒おかけしますが、受付をスムーズに行うため、必ずフリガナを振ってください。



千葉県PRマスコットキャラクター

チーパくん

フリガナ お名前	ご所属	前日連絡が取 れるご連絡先	必要なものに チェックしてください (障害のある方で、ご希望の方には 提供方法等について、個別にご 連絡させていただきます。ご相談 ください。)
	<input type="checkbox"/> 入居者(名) <input type="checkbox"/> 支援者(名) <input type="checkbox"/> 保護者(名) <input type="checkbox"/> その他(名)	(Tel)	<input type="checkbox"/> 手話 <input type="checkbox"/> 車椅子席(席) <input type="checkbox"/> その他
	()		()
	()		()
	()		()
(他 名)			

公共の交通機関をご利用ください。お車でいらっしゃる方は、近隣のコインパーキングをご利用いただくこととなります。

千葉県教育会館 千葉市中央区中央4丁目13-10

◎徒歩 JR千葉駅→20分 JR本千葉駅→12分
京成千葉中央駅→12分

◎バス (JR千葉駅東口より)
2番、3番より乗車 中央4丁目にて下車 徒歩3分

第10回 千葉県障害者グループホーム大会

参加費無料
定員450名
先着順

グループホームの原点と未来 たすき ～繋がる櫛～

「障害のある方が、人としてあたり前の暮らしをする場」としてのグループホームづくりが、日本で本格的に始まって30年になります。

今、全国で約11万人が生活されているグループホームは、暮らしの選択肢として定着しつつあり、その役割も大きくなっています。

変わりゆく障害者福祉政策の中で「グループホームに求められているものは何か？グループホームのありかたとは？」を皆さんと共に考える第10回大会にしたいと思います。原点を振り返りつつ未来を考える大会にしたいと思います。たくさんの皆様のご参加をお待ちしております。

日程：平成30年12月1日(土)

時間：10時～15時30分


場所：千葉県教育会館

主催：千葉県・千葉県障害者グループホーム等支援事業連絡協議会

後援依頼予定：千葉市・船橋市・柏市・障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム学会
千葉県障害者グループホーム等連絡協議会・千葉県生活ホーム等連絡協議会
習志野圏域障害者グループホーム等連絡協議会・市川圏域障害者グループホーム等連絡協議会
松戸圏域障害者グループホーム等連絡協議会・野田圏域障がい者グループホーム等連絡協議会
印旛圏域障害者グループホーム等連絡協議会・安房圏域障害者グループホーム等連絡協議会
君津圏域障害者グループホーム等連絡協議会・香取圏域障害者グループホーム等連絡協議会

お電話によるお問い合わせは 043-223-2308 千葉県健康福祉部 障害福祉事業課 事業支援班 担当：青柳まで

第10回千葉県障害者グループホーム大会 ～メニュー～

時間	内 容			
午前 10:00 ↓ 12:20	開会式 主催者挨拶 千葉県健康福祉部障害福祉事業課長 岡田 慎太郎 千葉県障害者グループホーム等支援事業連絡協議会会長 白井 正和 基調講演 「施設と地域のあいだで考えた ～グループホームの可能性を視野に～」 講師：社会福祉法人高水福祉会参与 長野県自立支援協議会会長 日本相談支援専門員協会顧問 厚生労働省医療的ケア児支援推進モデル事業検討委員 福岡 寿氏			大ホール 分科会④ (304 会議室) 入居者・入居希望者 交流会 (午前) 休憩スペースとして ご利用できます。
12:20～	昼休憩 大ホール内での飲食はご遠慮ください。			
午後 13:20 ↓ 15:00	<h2>分科会① (大ホール)</h2> <h3>「地域のなかのグループホーム」</h3> <p>～障害福祉を振り返りこれからを考える～</p> <p>グループホームの制度が出来た当初からグループホームを含めた障害福祉は変化を続けています。時代の変化に合わせて、グループホーム事業に携わる方々が、どういった実践を行ってきたのか。そのなかで、大事にしてきたものは何かを伺いつつ、グループホームに求められることを会場の皆様とともに考えていきます。</p> <p>登壇者</p> <p>○パネリスト：社会福祉法人高水福祉会 参与 福岡 寿氏 特定非営利活動法人UCHI 理事長 牧野 賢一氏 明治学院大学社会学部付属研究所 ソーシャルワーカー 角田 慰子氏</p> <p>○コーディネーター：社会福祉法人さざんか会 理事長 宮代 隆治氏</p>	<h2>分科会② (303 会議室)</h2> <h3>「入居者トークセッション」</h3> <p>グループホームで暮らしながら、毎日どんなことを思っているのか？！</p> <p>入居されている方から、嬉しい・楽しい・困っている事・悲しい事などなど、話をさせていただきます。「こうなったらいいな」を皆で出し合える会にしたいと思います。</p> <p>会場とのフリートークも！</p> <p>登壇者</p> <p>○コーディネーター：習志野圏域障害者グループホーム等支援ワーカー 石塚 友子</p> <p>○発言者：千葉県内グループホーム入居者の方 (3名)</p>	<h2>分科会③ (203 会議室)</h2> <h3>「家族のしゃべり場」</h3> <p>「グループホーム？自宅？アパート？」日々の暮らしの課題や将来への不安は家族なら誰もが思うもの。</p> <p>この分科会では同じような悩みを抱えたご家族の方々同士、お子様への想いを語り合います。グループホームを一つの選択肢としてアイデアを出し合い、明日に向かう活力をおみやげとして持ち帰って頂きます。</p> <p>登壇者</p> <p>○コーディネーター：社会福祉法人いちの里 みずほ学園 相談支援専門員 近藤 洋一氏</p> <p>○発言者：ご家族の方 (3名)</p> <p>○司会：長生・夷隅圏域障害者グループホーム等支援ワーカー 藤平 光浩</p>	<h2>分科会④ (304 会議室)</h2> <p>入居者・入居希望者 交流会 (午後) 住んでる人・住みたい人 大集合！</p> <p>参加者の方と作品作りを通じてグループホームへの想いを共有します。</p> <p>休憩スペースとしても利用できます。</p> <p>チーバくんととの撮影会も予定しているので、楽しみにしてね☆</p> 
15:15～	閉会式 各分科会の発表を大ホールにて予定しております。(閉会式の参加は自由です。) お忘れ物のありませんよう、お気をつけてお帰りください。			